

# 令和7年度仁淀川清流保全推進協議会

## 子どもたちを川に呼び戻すワーキング 要旨

日時：令和7年6月5日（木）13:00～15:00

場所：佐川町役場2階 大会議室（高岡郡佐川町甲）

参加者数：8名

所属等：水生生物研究者、によど自然素材等活用研究会、パートナーシップ交流会仁淀川分会、仁淀川の緑と清流を再生する会、NPO 法人仁淀川お宝探偵団、国土交通省高知河川国道事務所仁淀川出張所、事務局（高知県自然共生課）

### 1 議題

- (1) 仁淀川清流保全計画の取組内容の進捗状況（報告）
- (2) 今年度の取り組みについて（協議）
- (3) その他

### 2 資料

- 資料1 今年度の取り組みについて（協議）  
資料2 第2次仁淀川清流保全計画（改訂3版）線表  
参考資料 仁淀川清流保全計画の取組内容の進捗状況（報告）

### 3 主な協議内容（令和7年度の具体的な取組について事務局案を元に検討）

- ・仁淀川親子ふれあい交流体験の実施について
- ・RAC川の安全教室の実施について
- ・仁淀川危険箇所マップ等の情報発信の強化について
- ・環境学習への支援について
- ・仁淀川流域ニュースレターの発行について
- ・各団体等におけるイベントや環境学習等の活動及び情報発信について
- ・その他

### 4 協議結果（今後の取組の方向性等）

- (1) 「仁淀川親子ふれあい交流体験」の実施について
  - ・令和7年7月27日（日）に漁協や市町村との協働イベントとして開催
- (2) 「RAC川の安全教室」の実施について
  - ・今年度は①川の座学・実技、②自然理解、③歴史・文化理解の3つの講座を実施
  - ・参加者を増やすために市町村や大学、アウトドアセンター等と連携し周知していく
- (3) 仁淀川危険箇所マップ等の情報発信の強化について
  - ・危険箇所の周知に加えて、川遊びの装備についても周知（特にライフジャケットの着用、サンダルの危険性や靴の推奨等々）
- (4) 環境学習への支援について
  - ・調べ学習ハンドブックの活用を推奨しながら、学校等の環境学習を支援していく
- (5) 「仁淀川流域ニュースレター」について
  - ・(3)とも関連し、今年度最初のニュースレターは夏休み前までに発行し、川との安全・安心な関わり方についての特集記事を掲載
  - ・特集タイトル案「仁淀川水難事故ゼロへ！」など
- (6) 各団体等におけるイベントや環境学習等の活動及び情報発信について
  - ・高知県のHPやFacebook等を通じて情報を発信
- (7) その他、各団体間の情報共有や流域市町村との連携強化が必要との認識を再確認

【議題概要】

事務局	<p>【「仁淀川親子ふれあい交流体験」の実施について】</p> <p>仁淀川漁協主催で令和7年7月27日（日）に実施予定。毎年本協議会も流域市町村の協議会とともに共催している。このイベントを通じて流域市町村との関係性を深めていきたい。</p> <p>→（意見） かわまちづくり協会などのイベントで、親子ふれあい体験のようなイベントは実施予定か。</p> <p>→（座長） 波川公園ではヒメボタルの観察会を実施している。</p>
意見	<p>【「RAC川の安全教室」の実施について】</p> <p>昨年度の参加者は1名と少ないが、教育関係者の間では、長浜小学校の事故以来関心が高まっている。本講座を教育委員会に周知してみてもどうか。</p> <p>→（事務局） 過去には学校関係者やPTAをターゲットとし教育委員会に周知。また、参加しやすいよう土日開催としていたが、反響なし。今年度はRACの講師からの提案を受け、平日開催とし、ターゲットを県や市町村職員に変更してみたい。また、仁淀川流域関係者だけでなく、四万十川や物部川流域にも広く参加者を募る予定。</p> <p>→（意見） 高知大学の地域協働学部にも声をかけてみてはどうか。卒業後に各市町村で川の活動を行う人もいるため、講座が役立つと思う。</p> <p>→（意見） アウトドアセンターで働く学生アルバイトにも周知してはどうか。すでに自主団体で安全講習を実施しているが、別の団体による講習を受けることで新たな知識や発見が得られる可能性あり。</p> <p>→（意見） 川と人、文化の関わり講座では、日高村の水害対策の歴史について取り上げてはどうか。令和5年春に完成した新日下川放水路見学では、日高村に水害の多い理由や水との戦いの歴史を学べる。ツアープログラムのため費用が発生するが。</p> <p>→（意見） 日高村の文化財と日下川のインフラツーリズムと絡め、役場や観光協会と連携し大々的に実施すると情報発信にもつながる。座学の場所として、資料館や社会福祉協議会の建物も貸してもらえらる。</p> <p>→（座長） これまで日高村を題材とした講座は実施していないため、今回取り上げるのは良いと思う。</p> <p>→（意見） 放水路の役割上、水のある場所なので、渇水期の冬場1～2月頃の見学がよい。</p>

意見	<p>→ (事務局) その方向で検討していく。</p> <p><b>【仁淀川危険箇所マップ等の情報発信の強化について】</b> 危険箇所の周知も重要だが、川遊びの装備についても周知すべき。例えば、飛び込み禁止と書いてあっても飛び込む人がいるため、安全な装備や方法を伝えることが必要。特に、ライフジャケットの着用を周知してほしい。</p>
事務局	<p>→ (意見) 岐阜県ではライフジャケット着用の啓発動画を作成している。</p> <p>→ (座長) 危険箇所の周知に加えて川遊びの装備について周知していくことに異論なし。</p>
事務局	<p><b>【環境学習への支援について】</b> 現時点で県が把握している実施予定校は延べ7校。今後増える可能性はある。</p>
意見	<p><b>【「仁淀川流域ニュースレター」発行について】</b> 昨年度発行の第1号は紙で配布したのか、それとも電子で発信したのか。</p> <p>→ (事務局) A4の1枚紙で発行。仁淀川流域の小中学校を通じ児童生徒約4,200人に配布。実際の対象は子どもたちの保護者や学校の先生。今年度は2回分の発行予算は確保しているが、年4回発行するとなると予算的に厳しい。今は電子でなく紙の方が見てくれるだろうとの見立てで紙媒体にこだわっているが、状況をみて検討したい。この他に配布場所、方法等について意見があれば伺いたい。</p> <p>→ (意見) より多くの人に手に取ってもらうために、スーパーのレジ横に置いてもらうのはどうか。</p> <p>→ (意見) 高知市の学校ではアプリ「すぐーる」を使い、電子データで学校便りを配信している。そういったツールを活用してPDF配布を検討してはどうか。</p>
事務局	<p>→ (事務局) スーパーのレジ横という話で言えば、当協議会と清流保全パートナーズ協定を締結している企業様に協力をお願いするのもよいと思う。</p> <p>→ (意見) よい考えだ。あちらの企業様ならきっと協力してくれるだろう。</p> <p>今年度最初の発行で掲載したらよいと思われる記事の案があれば意見をお願いしたい。</p> <p>→ (意見)</p>

座長	<p>ライフジャケットの役割や正しい着用方法など、基礎的な情報を盛り込んではどうか。</p> <p>→（意見） 川遊びではサンダルが危険であることを周知するのはどうか。しっかり固定できるバックベルトがついたサンダルかアクアシューズを推奨する。</p> <p>→（意見） 第1回目の特集タイトルを「仁淀川水難事故ゼロへ！」とし、水難事故件数やライフジャケットの着用状況などの具体的な数値を掲載してはどうか。国土交通省や警察、消防署に情報を聞き取ると良い。</p> <p>→（事務局） ご意見をもとに、国土交通省や河川財団のHPや聞き取り等で情報を収集し、安全特集を組みたいと思う。夏休み前までに小中学校に配布しておく必要を考えると6月中には記事が完成していることが必要。時間的余裕はないが、とにかくたたき台ができ次第、ワーキングメンバーにメールで意見を伺いたい。また、最初のコラム執筆は会長に依頼したい。</p> <p><b>【仁淀川関係団体との連携について】</b> 波川公園の整備工事については専門家として意見を伝えていたが、意図がうまく伝わらないまま工事が進行し、その結果ヒメボタルが減少してしまった。意思疎通の難しさを感じたところ。</p> <p>→（意見） 第2次仁淀川清流保全計画に沿った取組への協力はそれぞれ皆が一緒にやれるところでやっていく。仁淀川に対する考え方は様々あると思うが、計画の方に寄せてくる、引っ張ってくるような、仲間づくりをしていくことが大切。</p> <p>→（意見） 最近県内の出来事で、工事結果とネイチャーポジティブの観点でずれのあった事例があったが、意思疎通を大切にしていかなければならないと感じた。</p> <p>→（意見） 仁淀川流域で開催されているシンポジウム（※現在、主に2団体が実施。）の場で、各団体がそれぞれの活動や課題を共有し、共通認識のもと清流保全を進められるようにしてはどうか。現在は各団体が個々に活動しており、一緒に取り組む機会が少ない。以前は農協や漁業団体などが連携して活動していた。</p> <p>→（事務局） 例えば物部川流域では県や市町村、流域団体の関係者が連携し、力を合わせて保全活動やフォーラムの開催をしている。特に流域自治体の動きがよく、協力体制ができていると感じる。仁淀川流域も同様に、様々な活動についての情報共有や協力依頼をしながら、関係性を深めていきたいと考える。</p>
----	--

閉会